

11月19日 「音楽の集いを終えて」

16日(土)の音楽の集いには、多くのお客様、お家の方々に来ていただきました。また、わくわくどきどきバザーも、PTAの方々のご協力で、楽しい時間を過ごすことができました。幼稚園と小学校の子供たち、先生、お家の方、そして地域の方が一緒になって盛り上げていく「千束ファミリー」の底力を感じました。



さて、音楽の集いでは、みんなとてもがんばりました。

1年生は、1つ1つの言葉をはっきりと歌えていました。ダンスのときの笑顔も素敵でした。



3年生は、声のボリュームが大きくて良かったです。一拍目からはっきりと歌いだせていたのも良かったです。



5年生は、高音の発声の仕方が美しかったです。低い音から高い音に飛んでいる所も、音が低くならず、正しい音程で歌えていました。



ブラスバンドは、4月、9月と発表を重ねてきましたが、毎回、上手くなっています。お互いに音を聴き合って演奏しているのが分かります。一緒に踊ってくれたダンスクラブの皆さん、音楽に合わせて、楽しさを身体全体で表現できているのが素敵でした。



2年生は、口の開け方がとても大きくて良かったです。手遊びをしても歌声が小さくならなかったのは、練習の成果です。



4年生は、高いところも、正しい音の高さで歌えていました。速い部分も、はっきりと歌っていて、歌詞が伝わってきました。



6年生は、発声のしかたが上手で、美しく響いていました。歌詞を大切に、曲調に合わせた歌い方をしていました。



学校全体で、晋平先生の歌を大事に歌っていることは、学校の歴史を、そして、学校を大事にしていると感じました。とても素敵な時間でした。

さて、音楽の集いで、みんな一生懸命に、真剣に歌っていましたが、歌うとこんなに良いことがあるということを紹介します。

まず、歌を歌うと、「脳全体に刺激がある」ということです。MRIという脳の写真を撮る機械で撮影すると、歌を歌っているときには、脳の大部分光って写り、脳が使われていることが分かるそうです。脳を使えば使うほど賢くなりますので、元気いっぱい歌っていた皆さんは、歌を通して、かしくなるのです。

次に、「心地よい気分」になるということです。歌うときに深呼吸をして口の開け方や声の出し方をコントロールすることで、脳の「心地よい」化学物質であるエンドルフィンが出ることが分かっています。この物質は、病気に強くなる、ストレスに強くなる、良い睡

眠がとれる効果があります。簡単に言えば、歌を通して、心も体も元気になるのです。

さらに、みんなで一緒に歌うことで、「一体感を高める」ことができます。サッカーの応援で観客が一緒に応援歌を歌う、教会で聖歌を歌う、ということで、そこにいる人たちが団結することを助けます。歌を通して、みんなの絆が深まっていくということなのです。

みなさんは、音楽の集いに向けた取り組みを通して、賢くなり、元気になり、そしてみんなの絆を深めることができました。素敵な音楽の集いでした。

